がん保険の 見直しチェックリスト

保険証券と約款を見ながら、確かめたら□に印を付けます。

① 確かめる10の点

	確かめること	証券に書いてあること
□	**診断給付金は1回だけか、複数回か** 証券で見る保障｜がんと診断されたときの給付金は、保険期間を通じて1回だけのものと、1年・2年に1回など複数回受け取れるものがある。再発や転移のときに受け取れるかを確かめる	
□	**支払いの対象にならないがんはないか** 証券で見る保障｜がんの種類によっては、一部支払いの対象とならない場合がある。上皮内新生物（上皮内がん）が対象か、受け取れる額が減らないかを約款で確かめる	
□	**入院しない通院の治療も対象か** 証券で見る保障｜通院の給付金には、がんで入院して退院したあとの通院が対象のものがある。入院せずに通院だけで治療したときも受け取れるかを確かめる	
□	**抗がん剤治療の給付** 証券で見る保障｜所定の抗がん剤治療を受けたときに給付金を受け取れる保障がある。いまの契約に付いているか、どの治療が対象かを確かめる	
□	**先進医療の保障** 証券で見る保障｜先進医療の技術料は公的医療保険の対象外で、全額自己負担。先進医療給付金は、治療を受けた時点で先進医療に当たる治療でないと支払われない	
□	**入院給付金と手術給付金の額** 証券で見る保障｜がん保険の入院給付金は、支払日数に上限がない。手術給付金は入院給付金の日額の10・20・40倍など。日額と倍率を書き出す	
□	**更新で保険料が上がるか** 期間と保険料｜更新型は、更新のときの年齢で保険料を計算し直すため、ふつうは上がる。保険期間と、次の更新の年・払い込みが終わる年を確かめる	
□	**医療費の上限（高額療養費）** 期間と保険料｜1か月に病院の窓口で払う医療費には、年齢と所得に応じた自己負担の上限がある（高額療養費制度）。先進医療の技術料や差額ベッド代など、上限の外になる費用と分けて考える	
□	**新しい契約の待ち期間（90日）** 乗り換えの前に｜がん保険は一般的に、契約してから90日の待ち期間を過ぎてから保障が始まる。この間にがんと診断されても保障の対象にならない	
□	**古い契約の解約は最後** 乗り換えの前に｜解約した保険は元に戻せない。年齢が上がって保険料が割高になることや、健康状態によって新しく入れないことがある。新しい契約が成立してから解約する。がん保険は待ち期間があるため、新しい契約の保障が始まる日を過ぎてからが安心	

② 乗り換えるとき

項目	書く
新しいがん保険の契約日　A	
保障が始まる日の目安（早くても）＝ A の90日後	
新しい契約の保障が始まる日（証券で確かめる）	
古い契約を解約する日（保障が始まる日より後）	

待ち期間の長さと数え方、保障が始まる日は商品によって違います。新しい契約の約款・保険証券で確かめてください。

先進医療の技術料は全額自己負担

先進医療	技術料の平均	平均入院
陽子線治療	2,780,895円	18.4日
重粒子線治療	3,189,452円	4.0日
内視鏡的胃局所切除術	222,970円	8.6日

技術料の1件あたりの平均額（中央社会保険医療協議会「令和7年6月30日時点における先進医療に係る費用」を生命保険文化センターが紹介）。2026年1月1日現在、先進医療は70種類。がんの平均在院日数 14.4日（令和5年9月に退院した人の、悪性新生物（がん）の平均在院日数。35〜64歳は10.7日、65歳以上は15.5日）。

出典：生命保険文化センター「がん保険（主契約の種類）」／生命保険文化センター「先進医療とは？どれくらい費用がかかる？」／厚生労働省「先進医療の概要について」／厚生労働省「令和5年（2023）患者調査の概況」退院患者の平均在院日数／生命保険文化センター「生命保険の契約にあたっての手引」その4 生命保険の仕組み（更新型・全期型）／厚生労働省「高額療養費制度を利用される皆さまへ」／生命保険文化センター「生命保険の契約にあたっての手引」その3 生命保険の見直しと留意点（2026/11/21 確認）